

ARAKAWA WAY
5つの**KIZUNA**
～社員の幸せのために～

Contents

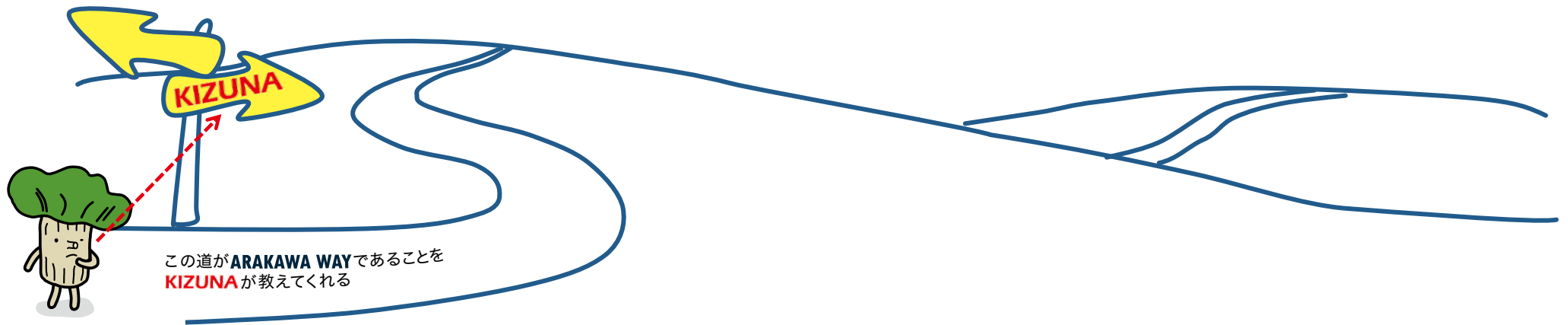
●はじめに	1
●グループ経営理念	4
●5つの KIZUNA	10
● KIZUNA を実践する	14

[こぼれ話]

●その1 クロマツの絆	13
-------------	----

迷ったら、 KIZUNAを思い出そう。

- **ARAKAWA WAY**とは、経営理念や価値観に照らして進むべき道(WAY)であり、その道の歩み方(WAY)です。
- **KIZUNA**は、道(判断)に迷った時、どの道が**ARAKAWA WAY**で、どのように進むのかを判断する道しるべ(指針)となります。
- 本書をいつも手元に置いて、**ARAKAWA WAY**を進んでいきましょう。



はじめに

—— 荒川化学グループで働いてよかった。

たとえば退職後、みなさんにそう思ってもらえる会社でありたい。それが私の願いです。そのためには、現在、当社グループで働くみなさんやご家族が幸せでなければなりません。

では、会社で働くことで感じる「幸せ」とは何でしょうか。それは、みなさんが経営理念に共感し、その未来にワクワクすること。そして、その未来に向かって一人ひとりがイキイキと働き、人として「高み」を目指して成長することです。みなさんの成長が会社の成長であり、結果として経営理念の実現につながっていくと信じています。

本書は、その経営理念をみんなで実現するために、経営理念をわかりやすく解説し、みなさんが実際の業務で判断に迷ったとき、どう行動すればいいのかを示した、判断の拠りどころとなるものです。また、140年の歴史と伝統をしっかりと受け継ぎ、次代へつなぐためにも、常に手の届くところに置き、日々役立ててください。

2015年3月

取締役社長 谷 興 勝 三

グループ経営理念

経営理念は、飾り言葉ではない。
一人ひとりが実践するもの。

【グループ経営理念】

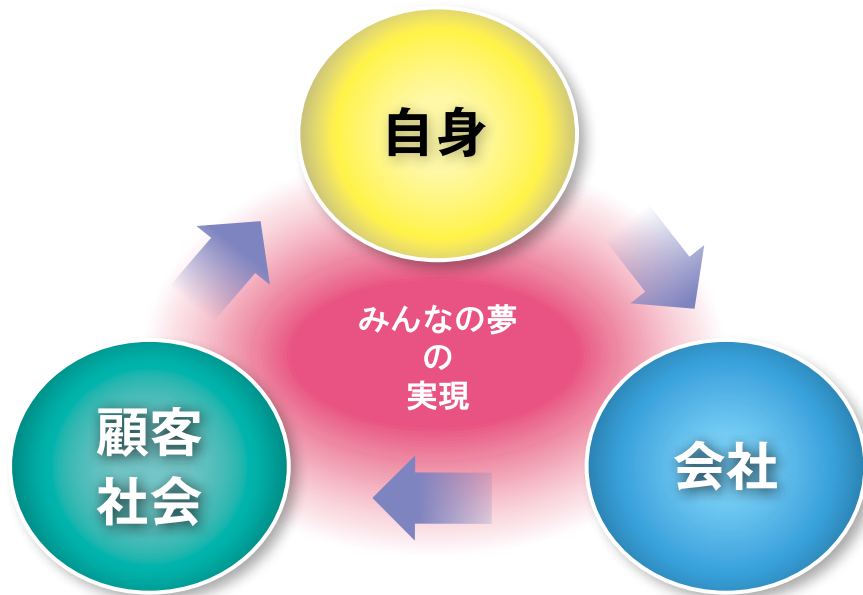
**個性を伸ばし
技術とサービスで
みんなの夢を実現する**

グループ経営理念とは…

荒川化学グループは、1876年に創業し、紙などの身近なものに機能を与える中間素材を提供する会社として社会に貢献してきました。このように永く会社が続いてきたのは、顧客、取引先からの信用を大切に守りながら、本業を重視した事業を行ってきたからです。そのなかで、社員とは家族として接し、社員を大切にする社風を育んできました。この「家族として接する」とは、社員一人ひとりが絆を大切にすることであり、時には厳しく教育をすることも含んでいます。そして、家族のように関わりあいながら社員一人ひとりが成長し、会社の成長につなげていくことが私たちの誇りです。

次世代にこの伝統を受け継いでいくことが私たち荒川化学グループ社員の使命です。

自身の成長が、 みんなの夢(幸せ) につながる。



●個性を伸ばす、伸ばせる

個性を伸ばすとは、明るくいいきと働ける環境で、社員一人ひとりの良さを育み、開花させ、会社の成長につなげていくことであり、私たちの活力の源泉です。そして、社員が働くことに幸福感を感じられる会社であり続けたいという想いを込めています。さらに、各国・地域の文化、考え方を尊重し、「個性と個性をつなぎ合わせる」ことで、個性豊かな会社を築きます。

●独自技術を創造し、期待される 製品・サービスを提供する

私たちは、独自の技術で、ロジン関連製品を業界に先駆け開発してきたユニークな会社です。これからも時代の変化に合わせて、進化を続けなければなりません。常に独創性に富んだ技術開発を通じて、市場が求める「安全・安心で高品質」な製品・サービスを世界中で提供していきます。

●みんなの夢をより多く実現する

「みんな」とは社員をはじめ荒川化学グループに関わる全ての人を指していますが、あくまでも社員一人ひとりが主役です。

「みんな」の夢の実現には、社員がいいきと働き、それぞれの夢を実現させ会社の成長につなげることが必要です。それにより、顧客、取引先および社会の繁栄に貢献し、それがまた社員、会社の成長につながります。この好循環により多くの夢を実現します。

この理念のもと、荒川化学グループは、化学メーカーとして安全・環境配慮を重視した経営を実践し、社会から認められ続ける会社を目指します。

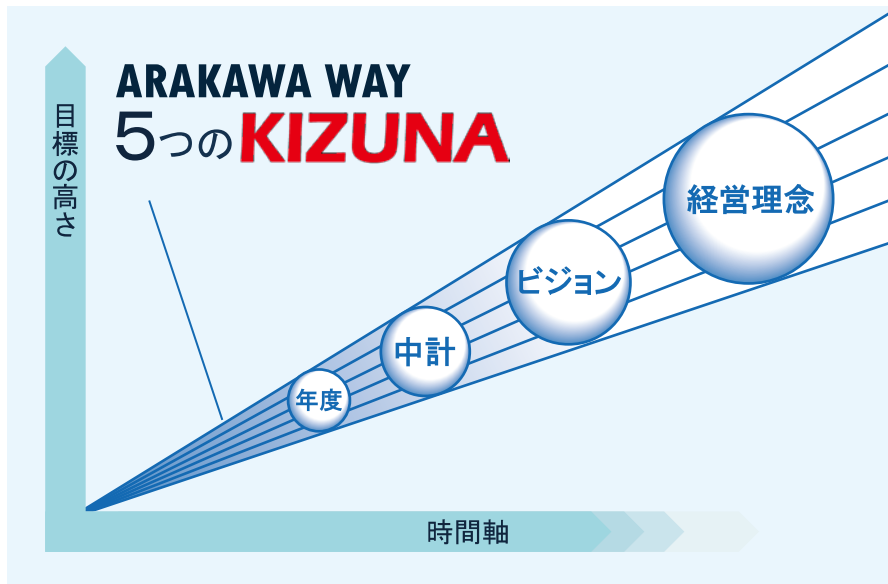
ARAKAWA WAYを進んだ先に、
社員の幸せがある。

経営理念を実践しよう。



どの道(判断)を
進むべきか？

ARAKAWA WAY 5つのKIZUNAが、 道しるべ。



上図は、**ARAKAWA WAY**を表したもの。

「**経営理念**」…………… 会社や組織は「何のために存在するのか」を言葉にしたもの。

「**ビジョン**」…………… 中期的な目標で、「将来のありたい姿」を言葉にしたもの。

「**中期経営計画**」…………… ビジョンを実現するための具体的な計画。

「**年度計画**」…………… 中計を達成するための単年度計画。

※ビジョン以下の目標は、すべて経営理念に基づいて設定されます。

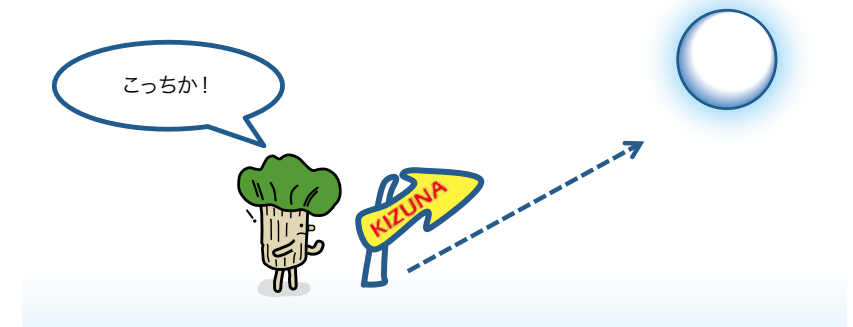
荒川らしい行動と、 その優先順位を つけるために。

●「荒川らしさ」の定義

「荒川らしさ」とは、荒川化学グループが長い歴史を通じて大切にしてきた考え方や、それに基づいた行動、習慣のこと。

●各目標を達成するために、今やるべきことは何か？

その道しるべとなるものが価値観・行動指針「5つの**KIZUNA**」。
KIZUNAは、**荒川らしい行動とその優先順位を明確にしてくれる。**



クロマツの絆

2014年10月。小名浜工場は設立25周年を迎え、場内で記念セレモニーが開催された。2011年の東日本大震災の復興から3年、先人たちの思いを引き継ぎ、新たな未来へのスタートを切った。



3年前のあの日、震災で被災した小名浜工場。直ちに大阪の本社に対策本部を立ち上げ、対応に当たり、最初に行った救援物資の供給では近隣の他社の工場から「どうして本社が東京にあるわが社より早く、救援物資が届いたのか」と、驚かれた。他事業所の従業員や配送業者らの尽力に加え、95年の阪神淡路大震災の経験が活きる結果となった。

しかし、災害はさらに続き、福島第一原発事故が発生。対策本部は避難を呼びかけた。そこで大いに力になってくれたのが、筑波研究所だった。彼らも被災し、厳しい状況ではあったが、工場の従業員とその家族、約250人を筑波研究所に受け入れ、翌日、周辺のマンションやホテルに宿泊手配を迅速に行った。以来、感謝の気持ちから始まった工場と研究所の交流会は、彼らの絆をますます強くしている。

セレモニーの最後に行われたクロマツの植樹。筑波研究所から25周年記念樹として寄贈されたものだ。彼らの絆の証であるクロマツは、今も力強く成長を続けている。

荒川らしい価値観、行動指針。

KIZUNAを实践する

できることから、
やってみよう。



当たり前前のことを、
当たり前前にする。

私たちが、大切にすべき「荒川らしさ」を明確にしたもの。それが「5つのKIZUNA」と名付けた、5つの価値観です。これらの価値観は、「荒川らしい」行動をとるとき判断の拠りどころとなるものです。

「5つのKIZUNA」には当たり前前が表現されています。なぜなら、「5つのKIZUNA」は、私たちが日々、当たり前前にやっていることだからです。その当たり前前を続けていくことが大切なのです。

価値観

【社会の軸】

まもる

私たちは、荒川化学グループの一員として、
社員の**生命**、会社の**信用**をまもります。

行動指針

安全を最優先します

安全を最優先に考え、行動することで、社員の生命と地域社会の安全をまもります。

ルールを遵守します

社内外のルールをきちんとまもることは、会社を永續させる基本です。

環境に配慮します

製品開発から生産、販売すべての場面で、環境に配慮した行動を心がけます。

価値観

【人の軸】

関わりあう

私たちは、荒川化学グループという大家族の一員として、お互いを**思いやり**、関わりあいながら**成長**していきます。

行動指針

コミュニケーションとチームワークを大切にします

目標達成のために、お互いの情報と知恵を持ち寄り、助け合いながら課題に取り組みます。

お互いの良さを認め合います

人はそれぞれの良さを持っています。お互いにその良さを認め、刺激し合うことで成長していきます。

思いやりを持って教え、共に成長します

チームとして成果を出すためには、メンバーへの教育は不可欠です。

ただ、一方的に教えるのではなく、自らも学ぶ姿勢と思いやりを持つことで、お互いに成長していきます。

価値観

【自身の軸】

主役になる

私たちは、大家族の中に埋没することなく、一人ひとりが主役として、**責任感**と**主体性**を持って行動します。

行動指針

仕事に対して「夢」を持ちます

自ら「夢」や具体的な目標を描くことで、仕事に対して熱意が生まれ、やりがいと良い仕事につながります。

自らの役割を理解し、良さを伸ばします

自分の役割を理解した上で、それを実行するのに必要な能力を自ら学び、プロ意識を持って取り組みます。

責任感を持ってやり遂げます

どんな仕事でも、誰かが必要としています。
自分の仕事をやり遂げるためには、主役として責任感を持つことが大切です。

価値観

【技術の軸】

技術の伝承と革新

技術とは、製品開発や生産に関わる技術だけでなく、あらゆる業務で培われてきた技術・ノウハウも含みます。このような先人が培ってきた技術を**受け継ぎ**、新たな価値を**創造**します。

行動指針

「知る」「活かす」そして「伝える」

培ってきた独自のノウハウや新しい技術を“知り”、それらに磨きをかけて“活用”し、そして次世代へ“伝えて”いきます。

「こだわり」を持って創造します

新たな価値を生み出していくためには、失敗を恐れずチャレンジし、各自が“こだわり”を持つことが大切です。

変化を掴み、前例にとらわれない発想をします

環境や状況の変化を常にキャッチし、これまでの前例や常識にとらわれることなく技術革新をくりかえすことで、時代や社会の変化に適応します。

価値観

【顧客の軸】

お客様と共に歩む

私たちは、お客様に満足される製品とサービスを提供し続け、お客様や取引先の**信頼**を得て、共に**喜び**を分かち合います。それが、私たちの成長の原動力となります。

行動指針

一人ひとりの仕事

「お客様につながっている」ことを意識します

お客様と直接関わらない仕事であっても、間接的には関わっています。一人ひとりの丁寧な仕事の積み重ねが、お客様の満足へとつながります。

お客様と共に考え、期待に応えます

お客様と常に向き合い、期待に応えるまで粘り強く取り組み、信頼関係を築きます。

お客様に喜ばれる品質を、継続して提供します

お客様から満足され、喜ばれる品質を継続して提供していくことが、お客様からの信頼を高めます。